

今月の表紙は

「大ちゃん家」縁側にて



コミュニティカフェ「大ちゃん家」には悩みを抱えた人、話を聞いてほしい人など日頃から様々な人が集まります。この家の象徴的な場所である縁側では、天気の良いと太陽の光を浴び、日向ぼっこをしながらのんびりとリフレッシュすることができます。そんな縁側でレインボーフラッグを掲げた永瀬親子。レインボーフラッグはLGBTQの尊厳と社会運動のシンボルとして使用されています。

表紙題字 橘吉也氏 (寄席文字書家/石岡市在住)



ありのままの存在を認め合う (P4~7)



まちの話題 (P26・27)

市長だより



11月、台湾台北市にて開催された台北国際旅行博において、石岡市の魅力をPRするため、台湾を訪問しました。また、石岡市と同じ「石岡」の名称の台中市石岡区において、JA新ひたち野、JAやさと、台中市石岡区農会、台中市新社區農会の4つの農業団体による交流宣言締結に立ち会いました。同じ「石岡」という地名を持つ石岡区の区長をはじめ、地域の方々と今後も様々な交流を行っていく約束をしました。台中市は、市とはいえ人口約280万人、これは茨城県とほぼ同じ人口となります。台中市には29の区があり、その中で石岡区は1万5千人を有しています。10年前にも当市から当時の石岡区(郷)に訪問した歴史があり、その当時関わっていた職員の一人が現在の石岡区長でした。人と人のつながりは、時や国境を越えて深い絆になっていくことを実感しました。今後、この絆を大切にインバウンド促進や地域経済の新たな市場開拓のチャンスになるよう育てていきたいと思っております。



石岡市長 谷島洋司

目次

- 3 「誰か」のことじゃない。
～12月4日から10日は「人権週間」です～
- 4-7 **特集** ありのままの存在を認め合う
- 8-11 情報ネットワーク Pick Up
- 12-21 情報ネットワーク・読者アンケート
- 22 学校ひろば・子育て information
- 23 ヘルスマイトの健康レシピ
消費生活ホットライン
- 24 図書館つうしん・時の記憶
- 25 文芸いしおか・スポーツ協会だより
- 26-27 まちの話題
- 28 わがやのアイドル・
推しおかレポーター ○○行ってみた